

【担当教員名】 松本京介		対象学年	2	対象学科	言語・社会	
		開講時期	後期	必修・選択	必修・選択	
		単位数	1	時間数	15	
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 人間理解の方法の一つとして心理測定法を学ぶ。 心理検査が生まれた背景や考え方、適用上の問題点、配慮事項を理解し、 その上で、集団式の心理検査をいくつか体験し、評価することによって、 心理検査の利点と限界について体得することを目的とする。						
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1. 心理学的な測定について理解し、心理測定の実施にあたっての留意点について把握する。 2. 心理検査の種類と特徴を理解し、説明できる。 3. 心理検査のそれぞれについて、結果の利用法、解釈法について習得する。						
回数	授業計画又は学習の主題				SBO	
					番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	心理学的な測定と倫理				1	講義
2	心理検査の種類と特徴				2	講義
3	人格検査（質問紙法1）				3	講義 実習
4	人格検査（質問紙法2）				3	講義 実習
5	人格検査（作業検査法・投影法）				3	講義
6	知能検査				3	講義
7	描画検査				3	講義 実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		心理検査の実際	澤田丞司	新興医学出版	2004年	4200円+税
参考書						
その他の資料		適宜プリントを配布する。				
【評価方法】 定期試験 出席状況			【履修上の留意点】 週によって内容が異なるため、欠席がないようにしてもらいたい。			